

### ③令和2年度生涯学習関連事業評価一覧

【基本施策1 番号1～49、49事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績					令和2年度の目標および評価				令和3年度 目標設定			令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)	
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ 影 口 響 ナ	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和3年度目標値	方向性					令和3年度の 課題と方向 (120字程度)
1		講座・教室	教養的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	自然体験・自然観察会	本市の特長でもある豊かな自然を活かし、市民を対象とした自然観察会を行う。	どなたでも	2	32 (秋:18 星空: 14)	共催	変更して実施	予定していた4回のうち、6月と2月の観察会は緊急事態宣言・感染症拡大防止対策のため中止となった。実施の2回は人数や時間を制限して実施したが、小規模ながらアンケートの満足度が高かった。	数応募者・参加者の人	計100名	32人 (秋:18人 星空:14人)	B	50名	取組の継続	屋外事業だが、密集・密接の状況が発生しやすい講座のため、感染症対策を並行して実施し、市民に身近な自然と触れあう機会を提供する。また、稲荷山行政資料保管等施設の自然博物館資料の活用を進める。	31	10	31	生涯学習政策課
2		講座・教室	趣味的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	出張体験講座	市内小学校に講師を派遣して、子どもたちに多様な体験型講座を実施する。	子ども	—	—	委託	全面中止・延期	感染症拡大防止を理由に中止した。	事業の拡大	より多くの子どもたちが、多様な体験を行える機会を充実させる。	—	評価なし	6校	取組の継続	令和元年度開始した事業で、昨年度中止となったため、今年度が2回目の実施となる。元年度より希望調査時期を早める等、前回の反省を活かして事業がより身近で活用しやすいものになるよう努める。	1,119	0	626	生涯学習政策課
3		講座・教室	育児・教育	001	子どもたちが体験できる機会の充実	赤ちゃんふれあい事業	市内の中学校と地域の関連機関が連携して、中学生が乳幼児や妊婦とふれあう機会を提供し、命の大切さを再認識するとともに、自尊感情を育む。	子ども	22	22校	委託	変更して実施	助産師会によるいのちの講義と、妊婦ジャケット等を使用した体験、妊婦や乳幼児と直接ふれあう体験を実施していたが、感染症予防のため、妊婦や乳幼児の参加は見合わせた。また、講義そのものを中止した学校もあった。	事業の拡大	拡大	公立中学校22校	B	すべての公立中学校(38校)での実施	改善・見直しの実施	オンラインの活用など、新しい生活様式に対応した講義内容を検討し、すべての公立中学校で実施する。	3,248	1,452	3,248	子どものしあわせ課(八南助産師会)
4		イベント等	趣味的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	子ども体験塾「オーケストラ・ワンダーランドへようこそ!」	オーケストラを実際に鑑賞する機会の少ない子どもたちに、迫力ある生の演奏を体感する機会を提供し、音楽への興味と豊かな感性を育む。	親子・保護者	—	—	実行委員会	全面中止・延期	例年8月に実施しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止。	参加者の満足度	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合を、80%以上	—	評価なし	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合を、80%以上	改善・見直しの実施	コロナ禍においても、子どもが音楽に親しむ機会を提供できるよう、感染予防を徹底して事業を実施する。	0	0	0	子どものしあわせ課(学園都市文化ふれあい財団)
5		イベント等	教養的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	八王子浅川水辺の楽校	生き物の採集やボートでの川遊びなどの体験活動を通して環境教育の充実を図るとともに環境を大切に育てる心と行動力を育てる。	子ども	—	—	実行委員会	全面中止・延期	イベントに関しては、全て中止となった。	の応募者数・参加者	休止	—	評価なし	社会状況を勘案したうえで、安全にできるだけ多くのイベントを実施する。	改善・見直しの実施	コロナ禍のもと、より安全な方法を考えて、イベントを実施する。	250	59	250	水環境整備課(八王子浅川水辺の楽校運営協議会)
6		講座・教室	教養的なもの	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	八王子「宇宙の学校」	小学校1年生から3年生を対象に、実験工作に取り組むスクーリングと家庭学習を組み合わせた教育プログラムに基づき、子供たちの心に「好奇心」「冒険心」「匠の心」を育てていくことを目的に宇宙教育を行う。また、事業は、市民や学生ボランティア等との協働により進めている。	子ども	—	—	実行委員会	全面中止・延期	令和元年度は249組の参加があり、3会場で4回のスクーリングを開催した。今年度は新型コロナウイルスの観点から当該事業を中止とした。その代替事業として、JAXAのホームページを紹介するなど家庭学習が可能なチャリを作成し、対象学年の児童全員に配布した。	参加者の満足度	—	—	評価なし	取組の継続	新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、参加者やボランティアの安全安心を最優先に開催の可否を検討する。開催となった場合は、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期するとともに、中止となった場合は、代替事業の実施を検討する。	1,000	0	700	こども科学館(宇宙の学校実行委員会)	

【基本施策1 番号1～49、49事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績					令和2年度の目標および評価				令和3年度 目標設定			令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)	
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ 影 口 響 ナ	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和3年度目標値	方向性					令和3年度の 課題と方向 (120字程度)
7		講座・教室	育児・教育	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	青少年講座	子どもたちに社会体験、職業体験、伝統文化体験をはじめとする多様な体験学習の場を提供し、自発的・主体的な学習活動の基礎をつくる。	子ども	1	38	市単独	変更して実施	新型コロナウイルス感染症の影響で多くの夏休み講座が中止となり、1講座のみ(「ロシアのお話とピアノ音楽講座」)の開催となった。	参加者の満足度	満足度90%以上	100%	C	満足度90%以上	取組の継続	適切な感染対策を講じた上で講座を実施し、子どもたちに多様な体験学習の場を提供していく。	466	13	297	学習支援課
8		講座・教室	健康・スポーツ	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	ジュニア育成事業	トップアスリート等から指導を受けることにより、子どもたちの競技力と意識の向上を図る。	子ども	2	31	委託	変更して実施	感染状況により、会場開催できなかったものについては、動画配信やオンライン配信にて開催した。会場開催できたものについても、人数制限等の感染症対策を講じて開催した。	応募者・参加者の人数	250人	31人	C	360人	取組の継続	ジュニア育成及び東京2020大会の機運醸成やレガシーとして、事前キャンプ実施チームに関連した競技やトップアスリートを招いた各種教室を開催する。直接指導が可能な会場開催を前提に、状況により動画を活用するなど可能な範囲で開催する。	1,500	630	1,500	スポーツ振興課
9		講座・教室	育児・教育	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	夏休み子どもいちょう塾	大学コンソーシアム八王子加盟校の先生たちが、その大学・学部等の特色を活かして、子どもたちに夏休みの特別教室を開講する。	子ども	—	—	補助	全面中止・延期	新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大により開催3日前に急遽の中止を決定	普及・啓発	対象者への周知をしっかりと行い、安全に配慮して開催する。	—	評価なし	対象者への周知をしっかりと行い、安全に配慮して開催する。	取組の継続	新型コロナウイルス感染に対する対策を充実させ、事業の実施を目指す。	1,842	452	1,904	学園都市文化課(大学コンソーシアム八王子((公財)学園都市文化ふれあい財団))
10		講座・教室	育児・教育	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	謎解き!脱出ゲーム	子ども向けグループワークプログラムとして、提示された課題をグループで話し合い協力しながら解決することで協調性等を育む。	子ども	1	21	市単独	変更して実施	感染症の感染拡大を防止するため、各館が参加する規模による実施は見送った。準備が整っていた1つの児童館のみで人数を絞って実施した。	人数 応募者・参加者の人数	参加者数:300人	21人	C	1回開催	改善・見直しの実施	感染症対策として密の回避、人流の抑制が求められている中で、児童館でどのような行事がどれだけできるか見通しが立たない。そのような中においては、小規模に1回でも実施できればよいと考える。	5	0	0	青少年若者課
11		講座・教室	育児・教育	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	学校等への車いす等体験学習	児童・生徒を中心に、福祉講話・車いす体験・高齢者疑似体験・点字体験・アイマスク体験を実施する。	子ども	46	2,548	補助	変更して実施	社協職員が講師として説明していたが、コロナのため車いすのみ貸出に変更し、教員が説明できるようマニュアルと説明動画を配付した。高齢者疑似体験、点字、アイマスクについては消毒維持管理が難しいため、貸出中止とした。	応募者・参加者の人数	対応件数 85件 参加者数 10,000人	対応件数 46件 参加者数 2548人	C	対応件数 60件 参加者数 4,000人	取組の継続	コロナが終息するまで現状維持での運用を行い、盲導犬及び車いす生活者の講話は学校の協力のもと感染症対策を徹底して、積極的に実施する。	436	0	243	福祉政策課(社会福祉協議会)
12		講座・教室	社会貢献活動	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	夏休み体験ボランティア活動	中学生から青年など若年層を対象に夏休み期間を利用して、高齢者施設・障害者施設・保育園等の協力のもと、ボランティア活動を体験することで、住民主体での福祉のまちづくりを行う。	子ども	—	—	補助	全面中止・延期	感染防止及び受入施設がないため中止	応募者・参加者の人数	参加者数 330人	—	評価なし	50人	改善・見直しの実施	コロナ禍において、ボランティア受入施設及び人と人との交流活動が減少が続くと思われ、感染予防に努めたボランティア活動を行うとともに、非接触型の活動も企画実施し、つながりあい支えあい町づくりを目指す。	244	0	75	福祉政策課(社会福祉協議会)

【基本施策1 番号1～49、49事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績					令和2年度の目標および評価				令和3年度 目標設定			令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)	
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ 影 響 ナ	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和3年度目標値	方向性					令和3年度の 課題と方向 (120字程度)
13		イベント等	育児・教育	003	青少年の海外交流・都市間交流の実施	青少年海外交流	海外の青少年と交流し、国際理解を深め、異文化・外国語でのコミュニケーション体験により国際的視野を持った青少年を育成する。	子ども	—	—	市単独	全面中止・延期	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、海外への派遣による交流事業を中止とした。	参加者の満足度	参加者アンケートの項目における『参加前後で、海外や外国語への興味・関心が向上したかどうか』の設問に“はい”と回答した参加者の割合が80%以上	—	評価なし	参加者アンケートの項目における『参加前後で、海外や外国語への興味・関心が向上したかどうか』の設問に“はい”と回答した参加者の割合が80%以上	改善・見直しの実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、海外への派遣交流を中止とし、オンラインなど「新しい生活様式」に対応した別の交流方法での実施を検討する。	4,874	0	425	生涯学習政策課
14		イベント等	育児・教育	003	青少年の海外交流・都市間交流の実施	北海道白糠町小学生交流事業	本市と歴史的なゆかりのある北海道白糠町の小学生と交流し、互いの地の歴史や文化を学ぶとともに、友情を育み、親善を深め、相手を思いやる心を醸成する。	子ども	—	—	共催	全面中止・延期	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、白糠町への派遣による交流事業を中止とした。	参加者の満足度	参加者アンケートにおける『交流事業に参加してよかったか』の設問に対して“よかった”または“とてもよかった”と回答した参加者の割合が100%	—	評価なし	参加者アンケートにおける『交流事業に参加してよかったか』の設問に対して“よかった”または“とてもよかった”と回答した参加者の割合が100%	改善・見直しの実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、白糠町への派遣交流を中止とし、オンラインなど「新しい生活様式」に対応した別の交流方法での実施を検討する。	1,632	0	101	生涯学習政策課
15		講座・教室	教養的なもの	004	人生を豊かにする多様な講座の提供	市民自由講座	歴史、文学、健康等、多種多様な分野の講座を市民団体・大学・企業などと連携して実施し、市民の生涯学習活動のきっかけづくりとする。	どなたでも	76	2,372	市単独	変更して実施	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった講座があったものの、3館合計で76講座を開催し、延べ2,372名が参加した。	参加者の満足度	満足度80%以上	81.8%	B	満足度80%以上	取組の継続	適切な感染対策を講じた上で講座を実施し、市民の生涯学習活動のきっかけづくりとする。	2,159	1,393	1,536	学習支援課
16		講座・教室	教養的なもの	004	人生を豊かにする多様な講座の提供	八王子学園都市大学(いちょう塾)	大学等の高度で専門的な学習機会を継続的に提供し、市民の生きがいづくりやまちの活性化に貢献することを目指す。	成人	115講座 【内訳】 一般講座 92 公開講座 23	1832 【内訳】 一般講座 920 公開講座 914	委託	変更して実施	前期講座(4～8月)については、学園都市センターで開講する講座はすべて中止。大学の正規科目のみ実施(19講座)後期講座(9～3月)については、新型コロナウイルス感染対策を行いながら、講座数および定員を減らし開催した。	参加者の満足度	95%以上	前期講座は開講中止となったため、アンケート実施なし。後期講座については集計中。	評価なし	95%以上	取組の継続	引き続き受講定員を削減するなど、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら年間150講座の開講を目標として実施する。	52,385	47,354	54,968	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団))
17		講座・教室	家庭生活	004	人生を豊かにする多様な講座の提供	消費生活講座・講演会	自立し、自ら行動する消費者市民を育てるため、各種消費生活講座・講演会等を開催し、消費者への啓発を図る。	どなたでも	都共催講座1回、 月間八王子会場講演会1回	都共催講座32 月間講演会65	共催	変更して実施	会場の定員数を半分削減し実施した。	参加者の満足度	参加者の90%以上が高評価	都共催講座「キャッシュレス決済見えないお金の話」32人 月間講演会「この時代に合わせた食とくらしの知恵」65人	B	参加者の90%以上が高評価	取組の継続	【課題】多くの市民が消費生活についての正しい知識を得たり、自らの消費行動が与える他への影響などに興味や関心を深める。 【方向】市民が賢い消費生活がおくれるように、身近な消費生活に関するテーマを題材に講座を開催する。コロナ禍の状況によるが会場の定員数に気を付けながら開催する。	99	7	29	消費生活センター

【基本施策1 番号1～49、49事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績					令和2年度の目標および評価				令和3年度 目標設定			令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)									
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ ロ ナ	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和3年度目標値	方向性					令和3年度の 課題と方向 (120字程度)								
18		講座・教室	教養的なもの	005	郷土の歴史や文化財に親しむ	郷土資料館講座・体験学習	郷土の歴史や文化財への関心を高めるような講座及び体験学習を実施する。	どなたでも	—	—	市単独	期全面中止・延期	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止	応募者数・参加者数	—	—	—	評価なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	文化財課 (郷土資料館)
19		講座・教室	教養的なもの	005	郷土の歴史や文化財に親しむ	文化財見て歩き	郷土の歴史や文化に親しみ、理解を深めるため、地域の文化財を市民に紹介しながら巡る。	どなたでも	—	—	市単独	期全面中止・延期	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止	参加者の満足	—	—	—	評価なし	アンケート回答者の7割が「満足」と回答する	取組の継続	新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえたうえで、実施時期や方法を検討する。	5	0	3	文化財課							
20		イベント等	教養的なもの	005	郷土の歴史や文化財に親しむ	八王子車人形と民俗芸能の公演	八王子車人形や説経節(説経浄瑠璃)・獅子舞・木遣などの公演を通して、市固有の伝統芸能への興味を深めるとともに、伝統芸能の継承について理解と関心を高める。	どなたでも	—	—	委託	全面中止・延期	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止	応募者・参加者の人数	—	—	—	評価なし	参加者500人	取組の継続	新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえたうえで、実施時期や方法を検討する。	1,650	0	1,240	文化財課							
21		イベント等	教養的なもの	006	文化芸術に触れる	八王子市民文化祭	市民による文化芸術活動の発表及び市民への鑑賞の機会を提供することにより、市民文化の振興を図る。	どなたでも	—	参加者419 来場者7,808	共催	変更して実施	コロナ禍の影響により公演が中止となったこともあり、前年度より、参加者、来場者ともに大きく減少した。しかし、新たにWEB上での配信等を活用し、市民による文化活動の発表と市民への鑑賞の機会を提供し、市民文化の振興を図ることができている。	応募者・参加者の人数	参加者3,400人 来場者21,000人	参加者419 来場者7,808	B	参加者・来場者数の増	取組の継続	コロナ禍の影響により、今年度も参加者、来場者数の減少が見込まれる。しかし、SNS等を活用してイベントの周知を図りつつ、オンライン配信等を活用し、市民による文化活動の発表と市民への鑑賞の機会を提供し、市民文化の振興を図っていききたい。	6,440	4,776	6,209	学園都市文化課								
22		イベント等	教養的なもの	006	文化芸術に触れる	八王子コミュニティオペラ	市民に身近な場所でオペラ合唱を学ぶ機会を提供し、文化芸術への市民参加の普及を促進する。	どなたでも	1	オンライン視聴者55	補助	変更して実施	“八王子コミュニティオペラ”に名称を変え、地域を超えた新たな展開を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、オペラの実施を取りやめ、ソリストのみが出演するガラコンサートに内容を変更。無観客オンライン配信にて実施した。	応募者・参加者の人数	来場者数H30年度来場者の10%増	※緊急事態宣言により、公演2日前に無観客(オンライン配信のみ)となったため、測定不可	—	評価なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団))
23	◎	その他	育児・教育	007	読書のまち八王子の推進	乳幼児の読書活動支援	ブックスタート事業やおはなし会、それに伴う出張型利用者登録など、発達段階に応じた切れ目ない読書活動支援により、図書館の利用を促進し、乳幼児の読書習慣の形成を図る。	乳幼児	—	【ブックスタートの参加者数】2,329人 【出張型利用者登録の登録者数】475人	市単独	変更して実施	新型コロナウイルス感染症拡大を受け、3～4か月健診が中止となった時期があったため、ブックスタートのセットの配布を図書館で行うなど方法を変更して実施した。また、出張型の利用者登録を試行的に実施し、図書館利用の促進を図った。	—	—	—	B	検討中	取組の継続	ブックスタート及び出張型利用者登録について、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に取らなから実施する必要がある。	4,323	3,957	3,111	中央図書館 生涯学習センター図書館 南大沢図書館								

【基本施策1 番号1～49、49事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績					令和2年度の目標および評価				令和3年度 目標設定			令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	のコロナ影響	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和3年度目標値	方向性					令和3年度の 課題と方向 (120字程度)	
24		イベント等	育児・教育	007	読書のまち八王子の推進	読書感想画・読書感想文コンクール	市内在住・在学の小中学生を対象に、本を読んだ感想を絵と文章で表現するコンクール事業。平成24年度(2012年度)からは、東京八王子西ロータリークラブと八王子市教育委員会の共催(令和2年度(2020年度)は協賛)により実施している。	子ども	各1回	【応募作品数】 感想画: 715点 感想文: 2,680点  【入賞作品数】 感想画: 30点 感想文: 30点	市単独	変更して実施	事業見直しにより、上位入賞者の台湾への交流派遣を廃止した。また、東京八王子西ロータリークラブとの共催事業から市の単独事業に変更した。表彰式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	応募者数	新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して行うこととし、目標値は設けない。	3,395人(点)	B	検討中	改善・見直しの実施	文部科学省では、「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の推進を提言している中、子どもたちがより主体的に、読書体験を通じた感動を表現し、他者に伝える取り組みとして読書感想画・感想文の要素を含む「本のPOPコンテスト」を実施する。	1,489	1,407	—	図書館全館	
25	◎	その他	社会貢献活動	007	読書のまち八王子の推進	地域の学校との連携活動	職場体験や選書体験等を通じた図書館と子どもたち(小学生～高校生)との交流を通して、子どもたちに図書館の機能や魅力を伝えるとともに、図書館に対する意見等を聞くことで、子どもたちの図書館ニーズを把握し、子どもたちの図書館利用を促進する取組等につなげる。	子ども	15	【受入人数】 315人	市単独	変更して実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、施設の構造上、受入可能な館のみ、人数を制限して実施した。また、南多摩中等教育学校図書館との交流を通して、子どもの読書ニーズの把握に努めた。	受入人数	新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して行うこととし、目標値は設けない。	315人	評価なし	検討中	取組の継続	南多摩中等教育学校との従来の交流に、調べ学習等への協力を追加し、生徒の図書館利用を促進する。	—	—	—	図書館全館	
26		講座・教室	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	八王子千人塾	中央図書館が毎年開催する60歳以上の市民を対象とした生涯学習支援事業。図書館の使い方・資料検索方法・論文の書き方等の講座を開催している。	高齢者	—	—	市単独	全面中止・延期	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、中止とした。	参加者数・修了者数	—	—	—	評価なし	検討中	取組の継続	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上での開催方法の検討が必要。	0	0	0	中央図書館
27		その他	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	図書館おすすめの“ぶっくばっく”	普段は手に取らない新たな本との出会いを提供し、市民の読書活動の質の向上を図るため、図書館司書が選んだ本を3～5冊にパック化し、お楽しみパックとして貸し出す事業。	どなたでも	—	【全館合計パック数】 3,374 パック  【全館合計貸出冊数】 13,218 冊	市単独	通常通り実施	令和2年3月から、コロナ禍における読書ニーズに対応するため、試行的に実施した。経年で実施する方法や、季節に応じたイベントとして実施するなど、地域の特性も踏まえ、各館で実施時期や実施方法を工夫して実施した。	試行実施の継続	年間を通じて試行実施を継続する	【全館合計パック数】 3,374 パック  【全館合計貸出冊数】 13,218冊	A	検討中	取組の継続	読書の質の向上を測定するための指標の設定が必要。	—	—	—	中央図書館 南大沢図書館	

【基本施策1 番号1～49、49事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績					令和2年度の目標および評価				令和3年度 目標設定			令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)	
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ 影 響 ナ	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和3年度目標値	方向性					令和3年度の 課題と方向 (120字程度)
28	◎	情報提供・環境整備	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	新たな読書空間“パークライブラリー”	「新しい生活様式」における身近な読書環境を整備するとともに、読書の普及啓発や図書館情報の効果的な発信を行い、地域の情報拠点として地域コミュニティの活性化に寄与するため、公園を活用し、新たな読書空間の創出やおはなし会等のイベントを実施する。	どなたでも	1	約400人	共催	変更して実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、南大沢図書館にて、長池公園との共催により、試行的に実施した。	協働事業の推進	公園を訪れる市民、特に親子を中心に150～250人前後の参加を目標値とする。	約400人	A	南大沢図書館ではパークライブラリーを春は子どもを対象とし、秋は子どもから大人までを対象に実施予定。各回約300人を想定しゆったりとした読書環境を提供し、新しい生活様式でのイベントのあり方を試行していく。	改善・見直しの実施	屋外のため、感染リスクは屋内と比較して低い。参加者数が増加した場合、人の流れを分散しながら実施する方法を検討する必要がある。	0	0	50	南大沢図書館 川口図書館
29	◎	その他	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	非来館型サービスの拡充	電子書籍・Webサービスの拡充や非来館型利用者登録の実施により、図書館に来館せずに、図書館利用者登録や読書ができる環境を整備し、「新しい生活様式」における身近な読書環境の整備を図る。	どなたでも	—	【電子書籍のタイトル数】12,195点(3月末時点) 【電子書籍の貸出数】54,857回 【電子メールによる仮利用者登録数】618人	市単独	通常通り実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、電子書籍のタイトル数を増加するとともに、その利用を促進するための仮利用者登録を試行的に実施した。また、利用者の本選びをサポートするため、「読書メーター」・「ブックログ」の外部リンクを図書館ホームページに設定した。	電子書籍のタイトル数及び利用者登録数	—	【電子書籍のタイトル数】12,195点(3月末時点) 【貸出数】54,857回 【電子メールによる仮利用者登録数】618人	A	検討中	取組の継続	「新しい生活様式」に沿った身近な読書環境の整備を測定するための、指標の設定が必要。	—	—	—	中央図書館 生涯学習センター図書館
30		講座・教室	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	ネオテニス親子教室	親子参加型のスポーツの場を提供し、八王子市発祥の「ネオテニス」の普及啓発を図る。	親子・保護者	—	—	市単独	全面中止・延期	—	人数募者・参加者の	30人	—	評価なし	60人	改善・見直しの実施	今年度より親子での参加のほか一般の部を設ける。初心者向けでありオンライン等の活用は適していないため、スポーツ推進委員と協力し、感染症対策を講じて開催する。	19	0	43	スポーツ振興課
31		イベント等	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	ヘルシーウォーキング	市内の名所や自然を感じる施設を巡るウォーキング大会。本事業により、市民の体力、健康増進意識の向上を図る。	どなたでも	—	—	委託	全面中止・延期	—	の応募者・参加者	1,000人	—	評価なし	1,000人	取組の継続	感染状況により、延期を決定。時期は未定であるが、感染状況を踏まえて、感染症対策を講じて開催する。	740	83	740	スポーツ振興課
32		講座・教室	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	夏山登山入門	スポーツ・レクリエーションの普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	どなたでも	—	—	共催	全面中止・延期	—	の応募者・参加者	—	—	評価なし	—	取組の継続	感染状況により中止を決定。	0	0	0	スポーツ振興課

【基本施策1 番号1～49、49事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績					令和2年度の目標および評価				令和3年度 目標設定			令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)	
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	のコロナ影響	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標評価	令和2年度 目標値	目標値に対する実績値	評価	令和3年度目標値	方向性					令和3年度の課題と方向 (120字程度)
33		イベント等	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	ふれあい運動会	障害者や支援者・ボランティアなどが自主的に運動会を企画・運営し、障害のある人とならない人との交流と障害に関する理解を促進する。	障害者	—	—	共催	全面中止・延期	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	人応募者・参加者の	参加団体目標 40団体	—	評価なし	参加団体目標 40団体	取組の継続	参加者・参加団体が減少傾向であるために、障がいの種類や有無にかかわらず、一緒に楽しめる競技を立案・検討・実施し、参加者・参加団体の増加を図る。	2,014 (内 800千円は市 予算)	0	2,216 (内 800千円は市 予算)	障害者福祉課
34	◎	情報提供・環境整備	職事に必要な知識取得	009	社会人の学び直しの支援(リカレント教育)	社会人の学び直し情報の提供	社会人が学び直しをする際に必要となる情報を、関連する所管や機関、大学等と連携して集め、提供する。	成人	—	—	委託	通常通り実施	開始時期:令和2年度	普及・啓発	市内の学習機会の情報を一元化したウェブサイトの運用を開始する	ウェブサイトではなくアプリの構築を行った。	A	・構築したアプリの保守委託。 ・講座内容の精査。	取組の継続	・掲載している講座の大半が趣味のための講座等であり社会人の学び直しのための講座とは乖離があること。 ・今後の講座の在り方について検討する。	8,932	1,472	396	生涯学習政策課
35		講座・教室	仕事に必要な知識取得	009	社会人の学び直しの支援(リカレント教育)	本気の創業塾	市と商工会議所が共同で運営するサイバーシルクロード八王子において、八王子で創業したい人を対象に創業に必要な基礎知識を学ぶ機会を提供する。	成人	6	12	共催	変更して実施	コロナウイルスの影響で、定員を約半数に抑えた。またオンライン会議システム「Zoom」により説明会及び講義の一部も遠隔で実施した。	その他	受講生:25人 創業者:7人	受講生: 12人 創業者:4人	B	受講生:25人 創業者:7人	取組の継続	前年同様、コロナウイルスの蔓延又は収束等の動向を踏まえ、人数を制限しての実施等、計画の縮小または変更を検討する必要がある。	0	0	0	企業支援課
36		講座・教室	情報端末・インターネットに関するもの	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	パソコン・タブレット教室	障害者の情報収集手段としてIT機器を有効活用ができるよう、障害別に有用なアプリや使用方法について紹介し、日常生活の向上を図る。障害によって会場まで行くことができない人を対象に、訪問相談を実施する。	障害者	65	445	指定管理者	変更して実施	緊急事態宣言中は中止したほか、緊急でIT機器を活用する必要がある人を選出し、実施することで感染対策とした。	応募者・参加者の人数	参加者目標 1,700名	445名	評価なし	参加者目標 1700名	取組の継続	障害者とICTとの繋がりが爆発的に進んでいる時世もあり、参加者が年々増加傾向にある。参加を希望するすべての障害者に支援が届くように、環境やデバイスを整える。	1,816	1,023	1,564	障害者福祉課
37		講座・教室	健康・スポーツ	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	見えにくくなった方の学習	中途視覚障害者を主な対象者として、点字の学習、歩行訓練等を行い、日常生活の向上を図る。	障害者	2	13	指定管理者	変更して実施	緊急事態宣言中は中止したため、回数は少なかったが、見えにくくなってきた方からのニーズも高く、感染対策を徹底したうえで実施した。	人応募者・参加者の	新規参加人数目標 2名	0名	評価なし	新規参加人数目標 2名	取組の継続	新規参加者が減少傾向にある為に、広報はちおうじの活用や相談事業から繋げることなどで、市民への周知を図る。	433	213	423	障害者福祉課
38		講座・教室	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	中途失聴難聴者のための手話講習会	中途失聴難聴者が、自らのコミュニケーション手段として手話を習得する場として実施する(入門・初級・中級・上級の4クラス)ほか、中途失聴難聴者同士の情報交換の場としている。	障害者	14	96	指定管理者	変更して実施	開講した後、緊急事態宣言が発令され、年度途中で中止とした。	数応募者・参加者の	新規参加人数目標 2名	0名	評価なし	新規参加人数目標 2名	取組の継続	新規参加者が減少傾向にある為に、広報はちおうじの活用や相談事業から繋げることなどで、市民への周知を図る。	1,142	41	1,142	障害者福祉課

【基本施策1 番号1~49、49事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績					令和2年度の目標および評価				令和3年度 目標設定			令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)	
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ 影 響 ナ	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和3年度目標値	方向性					令和3年度の 課題と方向 (120字程度)
39		その他	趣味的なもの	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	障害のある人も参加しやすい交流活動の場	障害者の孤立化を防止するため、気楽に利用できる交流活動の場として地域活動支援センターを運用し、創作的活動、生産活動の機会の提供、社会との交流の促進を図る。	障害者	—	3,486	補助	変更して実施	感染拡大防止の観点から、開所時間の変更などがあり、利用者数は減となった。	利用者の数	前年度と同程度	前年度：4212名 前年度比：82.8%	評価なし	前年度と同程度	取組の継続	感染防止対策をとりながら、障害者の孤立化を防止するための活動を模索していく。	47,324	47,324	47,324	障害者福祉課
40		イベント等	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	福祉まつり	市内の社会福祉施設・団体が手作りの作品や食品を販売するほか、ステージ上で太鼓や手話コーラスなどの活動発表を行い、施設利用者と地域住民との交流を図るとともに、福祉ボランティア活動に対する市民の関心と参加を高める。	障害者	—	—	実行委員会	全面中止・延期	感染防止のため中止	普及・啓発	中止	—	評価なし	中止	改善・見直しの実施	福祉まつりは障害者団体等が屋台式飲食販売等で対面販売をするので感染リスクが高いため、団体との協議の結果中止した。代替として、障害者の授産活動等の理解を深める工夫を取り入れた手作り作品の展示即売に重点を置き、年2回開催の検討を行う。	1,200	0	1,200	福祉政策課(社会福祉協議会)
41		イベント等	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	障害者文化展	障害のある人に作品発表の機会を提供するとともに、広く障害者福祉の啓発を行い、賞を贈るなど今後の創作を奨励する。	障害者	—	—	指定管理者	全面中止・延期	新型コロナの感染拡大防止のため中止	の応募者数・参加者	作品応募目標 200点	—	評価なし	作品応募目標	取組の継続	作品の応募者は増加傾向であるが、その傾向を維持する為、作品展示の広報を行い、展示場所をアクセス容易な会場にするなどで、創作意欲を促せるように支援する。	139	0	140	障害者福祉課
42		講座・教室	健康・スポーツ	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	市民いきりフレッシュ体操	市内の各市民センターで健康体操教室を開催し、市民の健康維持・増進を図る。	成人	76	1,107	市単独	変更して実施	申込方法の変更や人数制限等の感染症対策を講じて開催した。また、自宅でできる体操動画を配信し、市民の健康増進に努めた。	人数募者・参加者の	4,500人	1,107人	C	4,500人	取組の継続	直接指導が可能な会場開催を前提に、状況により動画を活用するなど可能な範囲で開催する。健康維持のためにも、施設が使用可能な限り、人数制限等により開催する予定。	6,913	6,695	7,269	スポーツ振興課
43		講座・教室	教養的なもの	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	ゆうゆうシニア講座	シニア世代の健康維持や生きがいづくりを目的に、パソコン・タブレット・スマートフォンなどのICTに関連する講座や健康維持に関するプログラムなどを提供する。	高齢者	23	540	市単独	変更して実施	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった講座があったものの、3館合計で23講座を開催し、延べ540名が参加した。	参加者の満足度	満足度85%以上	86.8%	B	満足度85%以上	取組の継続	適切な感染対策を講じた上で講座を実施し、ICT関連講座や健康維持に関するプログラムなどを提供していく。	1,254	566	882	学習支援課
44		その他	教養的なもの	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	高齢者施設読書活動支援	図書館への来館が困難な高齢者の入居施設を対象に、図書の出張貸出しや団体貸出しを実施し、身近で読書に親しめる環境の整備を図る。	高齢者	29	【貸出数】 4,721冊	共催	変更して実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、ボランティアによるおはなし会等は中止し、団体貸出しのみとした。	用参加者の満足度及び利	前年度を上回る利用状況 (参考) 令和元年度の貸出数 4,593冊	【貸出数】 4,721冊	A	—	取組の継続	新型コロナウイルスの感染対策を講じた上での、実施方法の検討が必要。	4,330	4,238	4,477	中央図書館

【基本施策1 番号1～49、49事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績					令和2年度の目標および評価				令和3年度 目標設定				令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)
				NO	施策名			対象者	回数	参加者 数(人) 等	実施 形態	の コ 影 口 響 ナ	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和3年度目標値	方向性	令和3年度の 課題と方向 (120字程度)				
45		講座・教室	健康・スポーツ	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	介護予防講座	フレイル予防の視点を取り入れ、要介護状態になることを防止し、地域において自立した日常生活を営めることを目的とした、各種介護予防講座を実施する。	高齢者	大横9 東浅川16 南大沢206	大横198 東浅川163 南大沢1,128	市単独	変更して実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一部参加者数などを制限しながら実施した。一方で、外出自粛にともなう新多機能の低下を予防するため、教室や講座等以外の場面でも紙面での普及啓発等を実施した。	普及・啓発	普及・啓発の対象者数 2,300人	大横198 東浅川163 南大沢1,128	B	普及・啓発の対象者数 2,500人 講座等の満足度 80%	取組の継続	講座や教室への参加後も、運動をはじめとしたフレイル予防のための取組みを継続できるよう働きかける。また、参加者としてだけでなく、市民が主体となった継続な取り組みにつながられるよう支援していく。	大横741 東浅川5,579 南大沢5,629 合計11,949	大横4855 南大沢620	大横509 東浅川5,472 南大沢5,476	大横保健福祉センター 東浅川保健福祉センター 南大沢保健福祉センター
46		講座・教室	趣味的なもの	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	生きがいづくりの教室	高齢者及び障害のある人を対象とし、健康の増進、生きがいの高揚、社会参加の促進、参加者間の交流などを支援する。	高齢者、障害者	—	—	市単独	全面中止・延期	新型コロナ感染拡大防止のため全面中止	参加者の満足度	満足度80%	—	—	—	廃止・休止	単なる生きがいづくりの教室については、生涯学習センター等でも実施しており、保健センターの教室については高齢者の介護予防、健康寿命の延伸等に資する教室を充実させていく。	大横1,798 東浅川708 南大沢999 合計3,558	大横90 東浅川0 南大沢535	大横669 東浅川0 南大沢2,197	東浅川保健福祉センター 大横保健福祉センター 南大沢保健福祉センター
47		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	012	性や国籍にかかわらず社会参画につながる学び	外国人のための防災訓練	地震などの災害に慣れない外国人に、防災訓練を通じて、災害への対応を身につける機会を提供する。	外国人	—	—	市単独	全面中止・延期	感染症拡大防止を理由に中止した。	参加者数	12人	—	—	—	廃止・休止	外国人への防災意識の啓発については、総合防災訓練への参加促進のほか、総合防災ガイドブックの配布や市HPを活用して行っていくこととしたため。	0	0	0	多文化共生推進課
48		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	012	性や国籍にかかわらず社会参画につながる学び	男女共同参画に係る講座の開催	男女共同参画社会の実現に向けて、一人一人の個性と能力を発揮できるよう、意識啓発や参画のための学習機会を提供する。	どなたでも	8	119	市単独	変更して実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、定員及び回数等を見直して実施した。	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度 98%	アンケート集計結果における満足度 93.5%	C	アンケート集計結果における満足度 90%	取組の継続	「男女が共に生きるまち八王子プラン(第3次)2019改定版」に基づき、男女が共に考え自立を目指すための啓発講座等を開催し、男女共同参画社会の実現を目指す。	1,047	318	748	男女共同参画課
49		講座・教室	教養的なもの	012	性や国籍にかかわらず社会参画につながる学び	国際理解講座	外国の文化への理解と外国人との交流を深め、多文化共生の推進を図る。	どなたでも	6	188	市単独	変更して実施	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった講座があったものの、3館合計で6講座を開催し、延べ188名が参加した。	協働事業の推進	協働体制づくり	市内団体等と協働で6講座を実施	B	協働体制づくり	取組の継続	適切な感染対策を講じた上で講座を実施し、多文化共生の推進を図っていく。	637	88	77	学習支援課

【基本施策2 番号50～107、58事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績										令和3年度 目標設定			令和3年度 担当課 (実施主体)					
								対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ 影 口 響 ナ	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和3年度目標 値	方向性	令和3年度の 課題と方向 (120字程度)		令和 2年度 予算 (千円)	令和 2年度 決算 (千円)	令和 3年度 予算 (千円)		
				NO	施策名																					
50		講座・教室	育児・教育	013	地域全体で子どもの育ちを支える	家庭教育啓発リーフレット等の配布	子育て中の保護者や行政職員等にリーフレットを配布し、家庭教育について、より広い層に関心をもってもらうとともに、地域で子どもと子育てを応援するよう啓発を行う。	親子・保護者	—	リーフレット配布数約45,000枚	市単独	通常通り実施	リーフレット配布を従来通り小中学校とした。「新しい生活様式」に対応したオンラインによる家庭教育支援講座を開催した(2回)	普及・啓発	より効果的な啓発方法について検討を行う。	—	A	効果的な啓発方法について検討を行う。	取組の継続	啓発そのものための予算がつかなかったため、費用をかけずに啓発する方法を検討する。	515	185	0	生涯学習政策課		
51		講座・教室	育児・教育	013	地域全体で子どもの育ちを支える	はちおうじファミリー☆ファシリテーター養成講座	ファシリテーション能力を向上させる講座を開催し、保護者同士や学校(教職員)・家庭・地域をつなぐ人材を養成する。	親子・保護者	—	—	共催	全面中止・延期	講座を開催する団体の意向により中止したが、今後の方針について「養成講座」より「体験講座」とした方が気軽に受講できる人が増えるのではないかとといった提言をいただくなどの意見を交換することができた。	応募者・参加者の人数	40人	—	—	—	改善・見直しの実施	講座の実施方法について検討。	290	0	0	生涯学習政策課		
52		講座・教室	育児・教育	013	地域全体で子どもの育ちを支える	ファミリー・サポート・センター事業	子育ての手助けをして欲しい人とお手伝いができる人が会員登録をして、子育てを地域で相互に助け合う活動を行う。	成人	3	133	補助	変更して実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、定員枠を減らした。	事業の拡大	提供会員数712人	提供会員数676人	B	提供会員数722人	取組の継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、安全に講座を開催する。	12,035	9,781	16,424	子ども家庭支援センター		
53		その他	育児・教育	013	地域全体で子どもの育ちを支える	学童保育所	放課後に家庭で保育ができない児童を対象に、遊びを中心として異年齢集団の中で社会性を身につけさせながら、一人一人の子どもたちの健全な成長を手助けする。	子ども	日曜日・祝日・年末年始を除く毎日	施設により異なる	指定管理者	変更して実施	緊急事態宣言中には延長保育を行わない対応で実施をした。開所中は新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら実施。緊急事態宣言解除後は開所時間は通常どおりとした。	その他	待機児童が多く発生している小学校区について施設整備を実施し待機児童解消を図る。 目標:2小学校区の整備	浅川小学校区及び東浅川小学校区 の整備を行い、待機児童の解消を図った。	B	待機児童が多く発生している小学校区について施設整備を実施し待機児童解消を図る。 目標:2小学校区 の整備	取組の継続	依然として待機児童が解消できていないため、待機児童解消できるよう努めていく。	113,996	55,930	37,224	青少年若者課		
54		その他	社会貢献活動	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	教育人材バンクへのボランティア希望者の登録	学校と地域が一体となり、子どもを育む環境を整備するため、ボランティア希望者を人材バンクに登録する。	どなたでも	—	2,871	市単独	変更して実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を希望する人が減少した。コロナ禍のため、積極的な募集活動も実施できなかった。	数 人 応募者・参加者の人	4,300人 (令和元年度登録者数の1.03倍)	2,871	—	他のボランティア関連事業(土曜放課後、学習協力者、学校運営協議会企画事業の3事業)との連携体制の検討	改善・見直しの実施	令和3年度より地域人材活用に係る事業が地域教育推進課に集約される。そのため地域人材の効果的な活用の観点から各事業の再検討をおこなう。令和3年度は来期以降の活用に向けた体制作りの検討を進めていく。	3,240	1,083	3,210	地域教育推進課		
55		講座・教室	育児・教育	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	市立小学校における環境教育支援	市立小学校の総合的な学習の時間等に実施される環境教育実習に対して、講師の派遣等の支援を行う。	子ども	17	1,029	委託	変更して実施	緊急事態宣言時は中止し、解除後に支援日数を1校当たり2回を1回に限定して実施	人 数 応募者・参加者の人	支援校25校	17校	—	支援校25校	取組の継続	新型コロナウイルス感染症のまん延状況に応じて、中止や延期を視野に入れる。開催する場合には予防対策をした上で実施する。	1,430	1,430	1,430	環境政策課 (委託先:特定非営利活動法人環境活動センター(王子))		

【基本施策2 番号50~107、58事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績							令和3年度 目標設定				令和3年度 担当課 (実施主体)						
								対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ 影 口 響 ナ	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和3年度目標 値		方向性	令和3年度の 課題と方向 (120字程度)	令和 2年度 予算 (千円)	令和 2年度 決算 (千円)	令和 3年度 予算 (千円)	
				NO	施策名																				
56		講座・教室	育児・教育	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	放課後子ども教室	平日の放課後や週末、夏休み等に小学校の施設を活用し、地域の人やボランティアの参画を得て全ての子どもたちに安全で安心な居場所を提供する。	子ども	6,106	571,282	委託	変更して実施	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部事業を縮小・変更したが、小学校の施設を活用し、地域の方々による運営や見守りを実施したほか、実施日の拡大を多くの子どもたちに安全で安心な居場所を提供した。	応募者・参加者の人数	820,000人	延参加者数 571,282人	B	610,000人	取組の継続	実施日数の拡充や活動内容の充実など、学童保育所との連携による放課後の居場所づくりと、持続可能な放課後子ども教室の運営(PTAや地域における世代交代など、運営団体の担い手不足)に取り組む。	229,150	118,282	195,543	生涯学習政策課	
57		講座・教室	育児・教育	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	放課後子ども教室と学童保育所との連携拡大	全ての児童の放課後の安全・安心な居場所を確保し、児童が多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後子ども教室と学童保育所の連携による一体型を推進する。	子ども	—	51校	市単独	変更して実施	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部事業を縮小・変更したが、小学校の施設を活用し、児童が多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後子ども教室と学童保育所の連携による一体型をできる範囲で推進した。	事業の拡大	51校	51校	A	51校	取組の継続	国の「新・放課後総合プラン」で示す「一体型」については現状で達成しており、事業の拡大にあたっては今後、学童保育施設の設置、再整備などが必要である。	0	0	0	生涯学習政策課	
58		講座・教室	育児・教育	015	子育て世代がつながるきっかけづくり	子育てひろば(親子ふれあい広場・親子つどいの広場など)	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として、子育てについての相談、情報提供、助言・援助等を行う。	親子・保護者	2,286	保護者延 3,662人 子ども延 3,795人	委託	変更して実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、面積によって定員を設け、先着順利用時間を1回60分~2時間(施設によって異なる)に制限した。12時30分~13時30分まで消毒時間を設けた。	事業の拡大	「のびのび子育て講座」実施数 1,062回	講座開催回数 2,286回	B	講座実施数 2,000回	取組の継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、安全に講座を開催する。	101,635	100,621	105,005	子ども家庭支援センター	
59		講座・教室	育児・教育	015	子育て世代がつながるきっかけづくり	子育て応援ひろば	グループワークなどを通じて子育ての中で生じる悩みを解消し、子育て中の保護者を支援する。	どなたでも	2	64	市単独	変更して実施	クワイエットホールで2講座を開催し、子育て中の保護者を支援した。	度 参加者の満足	満足度90%以上	100%	B	満足度90%以上	取組の継続	適切な感染対策を講じた上で講座を実施し、子育て中の保護者を支援していく。	207	62	154	学習支援課	
60		講座・教室	育児・教育	015	子育て世代がつながるきっかけづくり	家庭教育支援講座「星とおひさまFika(フィーカー)ワークショップ	家庭教育支援講座を茶話会(Fika(フィーカー))形式のワークショップで行うことにより、保護者の心理的負担を軽減し、家庭教育力の向上を図る。	親子・保護者	4	21	共催	変更して実施	中止になった学校10校オンラインによる講座2校	事業の拡大	より多くの小学校における開催を目指す。	4校	6校	A	6校	取組の継続	講座の実施方法について検討・家庭教育支援講座の様子を動画配信するなど啓発活動に力を入れる。	188	85	150	生涯学習政策課
61		イベント等	健康・スポーツ	016	地域での活動のきっかけづくり	地区運動会・スポーツ大会	総合型地域スポーツクラブや旧体力づくりへ補助金を交付し、スポーツ大会を通じ、地域コミュニティの活性化やスポーツ実施率の向上を図る。	どなたでも	3	892	補助	変更して実施	感染症対策を講じて開催することを確認して補助金を交付した。	人 応募者・参加者の	8,000人	892人	C	8,000人	取組の継続	感染症対策を講じて開催することを確認して補助金を交付する。	2,079	180	1,881	スポーツ振興課	

【基本施策2 番号50~107、58事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績					令和3年度 目標設定				令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)				
								対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ 影 響 ナ	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値					評 価	令和3年度目標 値	方向性	令和3年度の 課題と方向 (120字程度)
				NO	施策名																			
62		講座・教室	社会貢献活動	016	地域での活動のきっかけづくり	はちおうじ志民塾	これから定年退職する人や定年を迎えた人を対象に、退職後地域で活動するきっかけづくりをする。	高齢者	16	12	委託	変更して実施	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、定員の減員、三密防止など感染対策を徹底して実施した。そのためグループワークやまち歩き、NPO団体訪問などの講座は内容の変更を余儀なくされた	応募者・参加者の人数	25人	12	B	20	改善・見直しの実施	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響が完全に払拭されないこと、予算の減額のため講座数を減らして実施する予定	3,770	3,765	2,759	協働推進課
63		イベント等	社会貢献活動	016	地域での活動のきっかけづくり	市民活動入門講座(アクティブ市民塾)	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	どなたでも	6	77	指定管理者	変更して実施	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止1回、延期1回があった。後半はオンラインを併用したいアイブリッドで開催した。	応募者・参加者の人数	150人	77	B	150	改善・見直しの実施	コロナ禍の対応を優先し、新たな形式を企画する。	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	協働推進課(市民活動支援センター)
64		イベント等	社会貢献活動	016	地域での活動のきっかけづくり	お父さんお帰るなさいパーティー	シニア世代を対象に、市民活動に関する講演や団体紹介など地域での活動に参加するきっかけづくりをする。	どなたでも	1	66	実行委員会	変更して実施	例年労政会館を全館貸切で40以上のNPO団体が出展するが、今年度はミーティングアプリ「ZOOM」を活用したオンラインによる開催とした	応募者・参加者の人数	参加者のうち、興味を持った団体があった人数 80名	0	B	100	取組の継続	オンラインでの開催では参加者の満足度は低いが、今年度新型コロナウイルス感染症の影響が予想される	200	200	200	協働推進課
65		講座・教室	社会貢献活動	016	地域での活動のきっかけづくり	生涯学習コーディネーター養成講座	自ら講座を企画・運営し、市民の生涯学習活動を支援する「生涯学習コーディネーター」を養成する。	成人	—	—	共催	全面中止・延期	感染拡大防止を理由に中止したが、参加希望者が参加しやすいように、会場開催とオンライン開催のメリット・デメリットを検討し、又検温体制や人流、3密回避等を会場に即した検証を行った	参加者の満足度	講座満足度80%以上	—	評価なし	講座満足度80%以上	取組の継続	実施時期や内容を見直し、より市民が参加しやすい講座を実施することで、参加者の増加と満足度の向上を図る。	82	0	26	生涯学習政策課
66		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	シニア元気塾 ボランティア入門講座	ボランティア活動のきっかけづくり、高齢者の社会参加促進を図る。	高齢者	—	—	委託	全面中止・延期	感染拡大防止を理由に中止した。	—	—	—	評価なし	修了者数30人/年	取組の継続	新型コロナウイルス感染症対策を講じ、多くの方にボランティア活動のきっかけづくりの機会を提供することを目指す。	3,899	1,839	2,847	高齢者いきいき課
67		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	環境学習リーダー養成講座	市民が自発的に環境保全活動を行う際のリーダー役となる「八王子市環境学習リーダー」を養成する。	どなたでも	—	—	委託	—	隔年で開催のため実施せず	人応募者・参加者の人数	なし	—	評価なし	20人	改善・見直しの実施	環境学習リーダーは環境教育支援の担い手としても活動するため、環境教育支援に特化した講座内容に変更し、講座に参加しやすいよう日曜日の開催とする。開催する場合には予防対策をした上で実施する。	なし	なし	920	環境政策課(委託先:特定非営利活動法人環境活動センター八王子)

【基本施策2 番号50~107、58事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績							令和3年度 目標設定				令和3年度 担当課 (実施主体)					
								対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	のコロナ影響	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和3年度目標 値		方向性	令和3年度の 課題と方向 (120字程度)	令和 2年度 予算 (千円)	令和 2年度 決算 (千円)	令和 3年度 予算 (千円)
				NO	施策名																			
68		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	学校図書館ボランティア研修会	学校図書館の環境整備及び読書活動の推進に必要な技術及び知識を習得する。	どなたでも	—	—	市単独	全面中止・延期	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ボランティア研修会を中止	人応募者・参加者の	108人	—	評価なし	107人(全校×1名)	改善・見直しの実施	コロナ禍における実施方法の検討(オンライン等)内部講師による実施	54	0	0	教育指導課
69		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	日本語ボランティア養成講座	外国人市民の日本語学習支援のための支援者を養成する講座を実施する。	日本語ボランティア希望者・活動者	2	42	委託	変更して実施	3回実施する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で1回中止した。	参加者数	45人	42人	B	45人	取組の継続	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた事業の実施を検討する必要がある。	469	372	469	多文化共生推進課
70		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	図書館ボランティア等の連携・支援	図書館事業に関わる関係団体やボランティアと連携し、図書館サービスを拡充するとともに、育成やスキルアップを支援する。	どなたでも	—	—	市単独	全面中止・延期	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、ボランティアとの連携した取組が中止となった。	—	—	—	評価なし	検討中	取組の継続	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上での、実施方法を検討する必要がある。	1,280	676	1,032	中央図書館
71		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	手話講習会	初級・中級手話講習会や手話通訳者養成入門講座等を開催し、手話通訳ボランティアの養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。	成人	—	—	指定管理者	全面中止・延期	新型コロナの感染拡大防止のため中止	人応募者・参加者の	参加者目標30名(中級)20名(養成入門) 応募者目標20名(養成講座)	—	評価なし	参加者目標30名(中級)20名(養成入門) 応募者目標20名(養成講座)	取組の継続	応募人数の維持・増加を目指し、各手話サークルや来園者に向けて、養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。	1,557	0	1,557	障害者福祉課
72		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	要約筆記養成講習会	手話を使えない、中途失聴聴者の通訳手段である要約筆記技術の習得、要約筆記者の養成の場として、2か年にわたって実施する。	成人	—	—	指定管理者	全面中止・延期	新型コロナの感染拡大防止のため中止	の応募者・参加者	参加者目標10名	—	評価なし	参加者目標10名	取組の継続	応募人数の維持・増加を目指し、各手話サークルや来園者に向けて、養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。	1,550	0	1,500	障害者福祉課
73		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	災害ボランティアリーダー養成講座	災害ボランティアセンターの運営に協力いただく災害ボランティアリーダー(市民ボランティア)を養成するために講座を実施する。	成人	—	—	補助	全面中止・延期	感染防止のため中止。社協職員の内部委員会で課題改善検討を重点に次年度に向けて実施計画を企画する。	の応募者・参加者	新規受講者10名	—	評価なし	新規受講者20名	取組の継続	災害ボランティアセンターの円滑な運営が実施できるよう検証を積み重ねる。	81	0	86	福祉政策課(社会福祉協議会)
74		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	018	地域の課題解決につながる学びの提供	はちおうじ出前講座	市職員等が地域の団体等へ出向き、担当業務に関して専門知識を活かした講座を行うことで、市民の生涯学習活動を支援し、意識の向上を図るとともに、市政に対する理解を深める。	どなたでも	843	42,265	共催	変更して実施	感染拡大防止を理由に、開始時期を例年の4月から6月に変更した。また、実施団体・講師派遣団体の双方に感染症対策についての留意事項を通知することで、年間を通じて柔軟に講座を提供することができた。	応募者・参加者の人数	利用者数300,000人以上	42,265	B	利用者数150,000人以上	取組の継続	講座の性格上、3密の発生しやすい事業であるため、目標値を見直した。オンライン・リモート講座等、新たな試みを希望している所管があるため、実績を蓄積していきたい。	—	—	—	生涯学習政策課

【基本施策2 番号50～107、58事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績							令和3年度 目標設定				令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)			
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ ン テ ン ト	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和3年度目標 値					方向性	令和3年度の 課題と方向 (120字程度)	
75		講座・教室	教養的なもの	018	地域の課題解決につながる学びの提供	エコひろばでの環境教育	環境について関心を持つきっかけづくりとして、環境教育・環境学習の講座を実施する。	どなたでも	66	3,051	委託	変更して実施	緊急事態宣言時は中止し、解除後に密を避けるため募集人数を30人前後から15人程度に縮小し実施	者 応 募 者 数 ・ 参 加	5,000人	3051人	C	5,000人	取組の継続	新型コロナウイルス感染症のまん延状況に応じて、中止や延期を視野に入れる。開催する場合には予防対策をした上で実施する。	7,832	7,832	7,832	環境政策課 (委託先:特定非営利活動法人環境活動センター八王子)	
76		講座・教室	生活に関する市民	018	地域の課題解決につながる学びの提供	クールセンター八王子での省エネ講座	地球温暖化対策に興味を持ち、実践につなげられるように、講座を実施する。	どなたでも	18	289	委託	変更して実施	緊急事態宣言などの期間中は中止にしたほか、その後も会場の人数制限により、縮小して開催した	普 及 ・ 啓 発	—	目標値未設定のため算出不可	B	—	改善・見直しの実施	これまでどおり、会場に合わせた講座を実施するほか、新たに動画配信での講座の実施を検討する。	23,940	23,940	23,615	環境政策課 (委託先:特定非営利活動法人環境活動センター八王子)	
77		講座・教室	健康・スポーツ	018	地域の課題解決につながる学びの提供	健康づくりサポーターの養成	地域介護予防活動支援事業として、広く健康に関する知識の普及、運動(八王子けんこう体操等)、体力測定などの介護予防の活動を推進するため、健康づくりサポーターの養成を行う。	健康づくりサポーター養成講座はどなたでも。フォロー講座はサポーター登録者が対象。	—	—	養成講座1回、フォロー講座8回	市単独	変更して実施	感染状況を踏まえ開催時期を変更し、人数を減らして実施した。	応 募 者 ・ 参 加 者 の 人 数	健康づくりサポーター登録者数150人	健康づくりサポーター145人	B	健康づくりサポーターの活動状況「活動あり」65%以上	改善・見直しの実施	健康づくりサポーターの活動支援として、フォロー講座や交流会を実施する。	健康政策課 416 大横 30 東浅川 53 南大沢 65	健康政策課 223 大横 14 東浅川 14 南大沢 22	健康政策課 444 大横 30 東浅川 58 南大沢 49	健康政策課
78		講座・教室	仕事に必要の取得技	018	地域の課題解決につながる学びの提供	介護人材養成研修	市内介護サービス事業所等への就労希望者を対象に、介護職に必要な知識・技術を学ぶ「介護に関する入門的研修」及び「生活支援ヘルパー研修」を実施する。合わせて就職相談会を実施し、介護人材の確保を図る。	どなたでも	—	—	委託	全面中止・延期	感染症拡大防止を理由に中止した。	—	—	—	—	評価なし	①修了者数200人/年 ②マッチング数30人/年	取組の継続	介護人材と介護事業所とのマッチング率が低いため、個別相談の対応や履歴書の書き方等の指導を実施し、就労の醸成とマッチング支援を強化する。	6,930	0	7,598	高齢者いきいき課
79		イベント等	趣味的なもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	生涯学習フェスティバル	日々の学習成果を作品展示やステージを通じて発表する機会を設け、市民の自発的な学習活動を行うきっかけづくりと、学びを通じた市民交流の場を提供する。	どなたでも	—	—	共催	全面中止・延期	感染症拡大防止を理由に中止したが、参加希望者が参加しやすいように、会場開催とオンライン開催のメリット・デメリットを検討し、又検温体制や人流、3密回避等を会場に即した検証を行った	人 応 募 者 ・ 参 加 者 の	延べ来場者数4,500人以上	—	—	延べ来場者数2,000人以上	改善・見直しの実施	例年生涯学習センター全館を挙げて実施する事業だが、感染症対策のため、オンライン実施等新たな開催方法を検討し、生涯学習を行うきっかけづくりを市民に提供する。	50	0	6	生涯学習政策課	
80		イベント等	育児・教育	019	学習成果の発表と学びの広がり	八王子市立小中学校合同作品展「おもしろ展」	児童・生徒の作品の発表を通して、豊かな心情を培い、創造的な能力の向上を図る。	どなたでも	1	—	ホームページ閲覧数11,582件	共催	変更して実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場開催を中止しホームページにより開催	参 加 者 の 満 足 度	99%	—	—	99%	改善・見直しの実施	コロナ禍における会場開催の実施方法の検討(ホームページによる開催も含む)	2,794	367	2,694	学務課



【基本施策2 番号50～107、58事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績							令和3年度 目標設定									
								対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	のコロナ影響	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和3年度目標 値	方向性	令和3年度の 課題と方向 (120字程度)	令和 2年度 予算 (千円)	令和 2年度 決算 (千円)	令和 3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)
				NO	施策名																			
87		イベント等	家庭生活	019	学習成果の発表と学びの広がり	消費生活フェスティバル	消費者団体相互の交流を図るとともに、消費者団体等と連携して、消費生活に関する情報を体験や遊びを通して消費者に提供する。	どなたでも	3/1～3/31	期間内閲覧数 2,421件	市単独	変更して実施	2月上旬のリアル開催は、実施せず、WEB八王子市消費生活フェスティバルを3月に実施した。	協働事業の推進	アンケートの回答者の90%以上が高評価	WEBによるアンケート35人	B	アンケートの回答者の90%以上が高評価	取組の継続	【課題】参加団体の増 【方向】消費者団体相互間の交流を図り、広報等の周知を工夫するとともに、消費生活センターの認知度を高める。WEB八王子市消費生活フェスティバルを実施する。リアル開催は規模縮小して実施できるか検討する。	107	0	0	消費生活センター
88		イベント等	健康・スポーツ	019	学習成果の発表と学びの広がり	健康フェスタ・食育フェスタ	例年、5月第3日曜日を「市民健康の日」と定め、健康づくりや食育について、子どもから大人まで、楽しみながら、体験できる学びと市民交流の場を提供する。	どなたでも	—	—	実行委員会	全面中止・延期	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため全面中止とした。	応募者・参加者の人数	来場者数 延べ12,000名 →新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止	—	評価なし	来場者アンケートで「健康づくりのきっかけとなった」と回答する人の割合 90%以上	取組の継続	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を取りながら、子どもから大人まで楽しみながら体験できる学びと市民交流の場を提供する。	中止のためなし	中止のためなし	125	健康政策課
89		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	八王子環境フェスティバル	環境の保全についての関心と理解を深め、環境保全活動への参加意欲を高めることを目的とし、日々の学習成果を発表する機会を設け、市民の自発的な学習活動のきっかけづくりと、学びを通じた交流の場を提供する。	どなたでも	—	—	実行委員会	全面中止・延期	全面中止	応募者・参加者の人数	なし	—	評価なし	なし	取組の継続	従来の駅周辺開催ではなく、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策がとれるよう、会場の変更や内容の変更を検討し実施する。	700	25	700	環境政策課 (八王子環境フェスティバル実行委員会)
90		イベント等	育児・教育	020	日頃の成果の発揮と学び意欲の醸成	こども将棋大会	日本の伝統文化である「将棋」に親しみ、大会を通じてコミュニケーションや礼儀作法の修得など、子どもたちの健全育成を図る。	子ども	—	—	共催	全面中止・延期	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、大会を中止とした。	の応募者・参加者の人数	128名	—	評価なし	別の開催方法で実施する。	改善・見直しの実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、例年どおりの大会開催は中止とするが、別の手段・規模による安全な大会開催を検討する。	510	0	0	生涯学習政策課
91		イベント等	健康・スポーツ	020	日頃の成果の発揮と学び意欲の醸成	市民スポーツ大会	スポーツにおける市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供し、競技の普及、競技力の向上を図る。	どなたでも	—	—	委託	全面中止・延期	—	人応募者・参加者の人数	17,000人	—	評価なし	17,000人	取組の継続	感染状況により、総合開会式は中止を決定。各競技については、昨年度は一律に中止としたが、今年度は競技特性等を考慮して個別に判断し、感染症対策を講じて開催する。	2,700	609	3,371	スポーツ振興課
92		イベント等	健康・スポーツ	020	日頃の成果の発揮と学び意欲の醸成	市民レクリエーション大会	レクリエーション活動における市民の日頃の練習の成果を発揮する場を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。	どなたでも	—	—	委託	全面中止・延期	—	者応募者・参加者の人数	1,000人	—	評価なし	1,000人	取組の継続	感染症対策を講じて開催する。	732	21	743	スポーツ振興課



【基本施策2 番号50～107、58事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績										令和3年度 目標設定			令和2年度予算(千円)	令和2年度決算(千円)	令和3年度予算(千円)	令和3年度担当課(実施主体)
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	のコロナ影響	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和3年度目標 値	方向性	令和3年度の 課題と方向 (120字程度)				
99		イベント等	教養的なもの	021	高校生・大学生等と地域が繋がる、地域でいかす	学生発表会	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が日頃の研究成果を市民・企業・市政などに向けて発表する。	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等の学生	1	参加者数 発表件数 167件	補助	変更して実施	従来の発表方法(対面方式のみ)に加え、オンラインによる口頭発表を新規に実施することにより、新型コロナウイルス感染症の影響下においても参加校及び参加者数を維持することができた。	事業の拡大	参加大学等数を全加盟大学等の過半数以上とする。	12/25校	B	周知活動を充実させ、参加大学等数を全加盟大学等の過半数以上とする。	取組の継続	新型コロナウイルスの感染対策と発表件数増加に対応するために、クリエイティブホールを会場として確保する。	1,481	1,272	1,686	学園都市文化課(大学コンソーシアム八王子((公財)学園都市文化ふれあい財団))
100		イベント等	教養的なもの	021	高校生・大学生等と地域が繋がる、地域でいかす	八王子学生CMコンテスト	学園都市八王子の特色を活かし、学生ならではの視点で八王子市の魅力を動画CMにした作品を募集し、コンテストを開催する。	学生(個人または団体)	—	—	補助	全面中止・延期	新型コロナウイルス感染症に伴う学生の学外活動制限等により、作品制作が困難なことから中止。	応募者・参加者の	参加大学等数を全加盟大学等の1/5以上とし、申込作品数を30作品以上とする。	—	評価なし	参加大学等数を全加盟大学等の1/5以上とする。	取組の継続	新型コロナウイルス感染に対する対策を充実させ、早期に募集要項公開を行う。	2,167	1	1,571	学園都市文化課(大学コンソーシアム八王子((公財)学園都市文化ふれあい財団))
101		イベント等	育児・教育	021	高校生・大学生等と地域が繋がる、地域でいかす	成人式(令和4年度(2022年度)からは「二十歳を祝う会」)	成人式の開催に当たって、大学生等を中心とした実行委員会を立ち上げて企画運営に参画するとともに、高校生がボランティアとして運営に参画することにより、式典を協力してつくりあげる社会経験の場とする。	成人	1	オンライン動画再生 4,700回(1/10～1/12)	共催	変更して実施	例年市民会館で開催の式典について、感染症拡大防止を理由に集合同催を中止し、オンライン開催(市内高校生による合唱を含む式典動画・応援メッセージ掲載)とした。	参加者の満足度	実行委員会とともに、人生の節目となる二十歳を機に成人としての自覚を促し、成人を祝い励ます式典を作りあげる。	—	B	感染症対策を行い、多世代・地域と協働して成人式を開催し、新成人に社会人としての自覚を促す。	取組の継続	感染症対策を並行しながら、高校生ボランティアや商店街等、多世代・地域と協働で作り上げる成人式を開催する。	2,127	2,406	3,111	生涯学習政策課
102		イベント等	趣味的なもの	021	高校生・大学生等と地域が繋がる、地域でいかす	八王子市内高等学校吹奏楽フェスティバル	市内高等学校吹奏楽フェスティバルを高校生による運営とすることで、青少年の音楽活動の成果発表の場を確保するとともに、イベント開催に参画する機会を提供する。	高校生	1	市内高校13校参加	共催	変更して実施	例年市民会館で開催し、多くの観客が来場するイベントだが、感染症対策として来場者を関係者に限定することで、高校生の成果発表の場を提供した。	数応募者・参加者の人	2,500名	関係者のみ	B	500名	取組の継続	共催団体と連携をとり、感染症対策を並行しながら、青少年の音楽活動の成果発表の場を提供していく。	320	310	0	生涯学習政策課
103		イベント等	育児・教育	021	高校生・大学生等と地域が繋がる、地域でいかす	児童館・こどもシティ	子どもたちが、社会性や協調性を育む機会に、学生と地域が参加し、交流活動を行う。	子ども	—	—	実行委員会	全面中止・延期	各地区で実施する準備をしていたが、関係機関との調整の結果や緊急事態宣言の発出などにより、実施できなかった。	協働事業の推進	みなみ野地区での開催及びみなみ野地域での関係機関・団体・住民との連携強化	—	評価なし	1回開催	取組の継続	感染症対策として密の回避、人流の抑制が求められている中で、児童館でどのような行事がどれだけできるか見通しが立たない。そのような中では、小規模に1回でも実施できればよいと考える。	783	0	432	青少年若者課
104	◎	講座・教室	教養的なもの	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	支援を必要とする若者の学び直しの場の提供	ひきこもりや働くことへの不安などを抱える若者に対する、学びの継続や学び直しに向けた活動の場として、主に対人関係に慣れるためのプログラム活動を提供する。	15歳～39歳の若者	19件	77	委託	変更して実施	ペルマークの仕分けボランティア、室内ストレッチ、遊びを通じた対人訓練メニュー等	応募者・参加者の人数	若者総合相談窓口の、教育機関をはじめとした支援機関への周知を進め、利用につなげていく	教育機関をはじめとした支援機関への周知を図った結果、10代から20代の利用が多かった。	B	プログラム活動90回実施	取組の継続	講座の種類が限られているため、より多様な講座の提供が可能となるよう、委託事業者と調整を図る。	21,439	21,439	28,388	青少年若者課

【基本施策2 番号50~107、58事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績						令和3年度 目標設定				令和3年度 担当課 (実施主体)						
								対象者	回数	参加者 数(人) 等	実施 形態	の コ 影 口 響 ナ	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評 価		令和3年度目標 値	方向性	令和3年度の 課題と方向 (120字程度)	令和 2年度 予算 (千円)	令和 2年度 決算 (千円)	令和 3年度 予算 (千円)
				NO	施策名																			
105	◎	その他	社会貢献活動	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	若者が参加できるボランティア活動の充実	地域貢献につながる活動メニューを企画・立案し、若者が参加できるボランティア活動を提供する。また、地域のボランティア活動の情報を広く提供する。	15歳~39歳の若者	1	3	委託	変更して実施	高尾山薬王院清掃ボランティアを1回実施した。	普及・啓発	地域活動メニューの企画・立案を進める	感染の影響で、複数回の実施ができなかった。	C	地域での活動5回	取組の継続	感染予防措置を講じること、地域の受け入れ先との調整、当日の移動手段の確保など、手続きが煩雑となるが、可能な範囲で実施していく。	0	0	0	青少年若者課
106		イベント等	趣味的なもの	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	クリエイティブステージ	日ごろの音楽活動の成果発表の場として、40歳以下の団体・個人を対象にステージを提供するとともに、出演者・来場者間の交流を図る。	どなたでも	—	—	市単独	全面中止・延期	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。	の応募者数・参加者	18団体以上の参加、800人以上のイベント参加	—	評価なし	10団体程度の参加	改善・見直しの実施	来場者の密集・密接を防ぐ対策を検討し、より多くの団体・個人に音楽活動の成果発表の場を提供していく。	0	0	0	学習支援課
107		講座・教室	教養的なもの	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	若者の視野が広がる教育・普及啓発	若者にとって生きるヒントが得られるような学びの機会を充実する。	どなたでも	4	62	市単独	変更して実施	「国民が出来る限り幸せに生きるための斬新なアイデア」他3講座を実施し、生きるヒントが得られるような学びの機会を提供した。4講座延べ62名参加。	事業の拡大	10講座	4講座(コロナウイルスの影響で中止講座あり)	C	10講座	取組の継続	より多くの若者が参加し、生きるヒントが得られるような内容の講座を実施していく。	—	—	—	学習支援課



【基本施策3 番号108~129、22事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績					令和2年度の目標および評価			令和3年度 目標設定			令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	のコロナ影響	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和3年度目標値					方向性	令和3年度の 課題と方向 (120字程度)
114		情報提供・環境整備	社会貢献活動	025	生涯学習機会の情報の発信	はちコミねっと	市民活動に関する情報発信を行う。	どなたでも	通年	448	指定管理者	通常通り実施	SNSでの告知で、はちコミねっとの普及につとめた	応募者・参加者の人数	登録団体数 450団体	448	C	470	取組の継続	登録しているも活動停止等の状態の団体に確認し、整理するとともに活用講座を開催し新規登録を促進する。また新型コロナウイルス感染症対応のため、普及や説明にZOOM等の遠隔ツールを活用する。	1,496	1,496	1,496	協働推進課 (市民活動支援センター)
115		情報提供・環境整備	教養的なもの	025	生涯学習機会の情報の発信	市民センターだよりの発行	地域住民協議会が発行する情報誌を活用し、身近な地域情報を発信する。	どなたでも	33	—	補助	変更して実施	コロナウイルス感染防止対策のため様々な事業が中止となり、センターだよりで発信する情報が少なかったため、紙面の縮小や発行回数を減らし実施した。	紙面の充実	紙面の充実	コロナ禍のため事業が実施できないなか、各住民協議会が工夫して紙面を作成し情報発信を行った	C	紙面の充実	取組の継続	市民活動支援センターの広報担当と協力して紙面の充実をはかる。	1,278	1,165	1,405	協働推進課
116		情報提供・環境整備	家庭生活	025	生涯学習機会の情報の発信	消費生活情報の提供	消費生活ニュース、くらしのレポート、広報消費生活特集号等を発行し、消費生活に関わる情報提供を行う。	どなたでも	消費生活ニュース10回 くらしのレポート3回 広報特集号1回	消費生活ニュース4,000部 くらしのレポート800部 広報特集号282,092部	市単独	変更して実施	消費生活ニュース、くらしのレポート、広報特集号を作成し配布した。	普及・啓発	タイムリーな情報を関係団体と共同で情報提供する。	消費生活ニュース約4,000部 くらしのレポート約800部 広報特集号約28万部	B	タイムリーな情報を関係団体と共同で情報提供する。	取組の継続	【課題】消費生活について情報提供をすることで、市民が安心・安全な消費生活を行えるようになる。 【方向】注意喚起情報の発信と消費者の自立を目指した情報提供を行う。配布場所を民間機関にも広域的に配布する。	0	0	0	消費生活センター
117		情報提供・環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	025	生涯学習機会の情報の発信	外国人向け情報誌「Ginkgo」の発行	外国人のニーズに合わせた行政情報の提供の充実を目指し、年6回、多言語で、外国人向け情報誌を発行する。	外国人	6	延12,792部	市単独	通常通り実施	例年の記事に加え、新型コロナウイルス感染症の感染防止にかなする啓発記事などを掲載した。	掲載内容の充実	掲載内容の充実を図るため、各所管からの記事掲載希望の収集に努める。	外国人に必要な情報を、わかりやすく提供ができた。	B	掲載記事の充実	改善・見直しの実施	発言言語の精査など。	363	149	327	多文化共生推進課
118		情報提供・環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	025	生涯学習機会の情報の発信	男女共同参画情報紙「ばれっと」の発行	男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供する。	どなたでも	1	284,505部発行	市単独	通常通り実施	子育て世代にも関心を持ってもらえる紙面とするため、男性の家庭参画に取り組む著名人のインタビュー記事を掲載した。	普及・啓発	アンケート等で意見収集し、子育て世代にも関心を持ってもらえる紙面づくりを行い、市民に対して男女共同参画について啓発する。	紙面の構成を見直し、子育て世代にも手に取ってもらえる内容とすることで、広く男女共同参画について啓発した。	B	アンケート等で意見収集し、子育て世代にも関心を持ってもらえる紙面づくりを行い、市民に対して男女共同参画について啓発する。	取組の継続	男女共同参画情報紙「ばれっと」の発行を通して、市民に対して男女共同参画について啓発する。	1,372	590	1,073	男女共同参画課

【基本施策3 番号108~129、22事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績				令和2年度の目標および評価				令和3年度 目標設定			令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	のコロナ影響	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和3年度目標値					方向性	令和3年度の 課題と方向 (120字程度)
119		情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	生涯学習センター	地域住民にとって身近な学習拠点であるほか、交流の場、コミュニティ形成の場として、学習ニーズや地域の実情に応じた学習機会を提供する。	どなたでも	—	97,297	市単独	変更して実施	年度当初は緊急事態宣言等により休館していたが、宣言解除後は部屋の消毒や手洗いの励行等感染対策を講じた上で、講座やフリースペース等の事業を再開した。	利用者数	利用者数(講座の参加者数を含む)	3館合計 97,297人	B	利用者数	取組の継続	適切な感染対策を講じた上で、市民に学習機会を提供していく。	—	—	—	学習支援課
120		情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	学習室の貸し出し	団体・個人に学習室等を貸し出し、市民の自発的な生涯学習活動を支援する。	どなたでも	8,888	—	市単独	変更して実施	年度当初は緊急事態宣言等により休館していたが、宣言解除後は部屋の消毒や手洗いの励行等感染対策を講じた上で、学習室等の貸出を再開した。	利用件数	利用件数	3館合計 8,888件	B	利用件数	取組の継続	適切な感染対策を講じた上で、市民に学習機会を提供していく。	—	—	—	学習支援課
121		情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	フリースペース	空き学習室を自習スペースとして開放し、学生の自主的な学習を支援するとともに、若い世代の施設利用を促進する。	学生	744	19,364	市単独	変更して実施	休館等で実施できない時期があったものの、3館合計で744日実施し、延べ19,364名の利用があった。	の応募者数・参加者	土・日・祝、平日夜間、学校長期休業期間に実施	3館合計で 744日実施	B	土・日・祝、平日夜間、学校長期休業期間に実施	取組の継続	適切な感染対策を講じた上でフリースペースを実施し、学生の自主的な学習を支援していく。	0	0	0	学習支援課
122		その他	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	図書館	「地域の情報拠点」として、子どもから高齢者まで多様な利用者の学習活動を支え、新たなニーズに対応する。	どなたでも	【開放日数】 168日	【自習室(中央館)の利用者数】 4,846	市単独	変更して実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、臨時休館した期間もあるため、利用者数が減少した。 (参考)令和元年度 21,254人	自習室の利用者数	—	4,846人	評価なし	検討中	取組の継続	市全体における図書館の施設整備方針の中で、学習スペースの確保などについて、検討する必要がある。	—	—	—	中央図書館
123		その他	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	地区図書室の図書館化	身近な読書環境の整備のため、地区図書室を図書館として整備する。	どなたでも	—	—	市単独	全面中止・延期	市全体における図書館の施設整備方針の中で整理していく。	—	—	—	評価なし	取組の継続	市全体における図書館の施設整備方針の中で整理する必要がある。	—	—	—	中央図書館	
124		情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	八王子駅南口集いの拠点整備	八王子医療刑務所跡地に整備する公園、歴史・郷土ミュージアム(新郷土資料館)とともに、学習・交流機能を持つ交流スペースや図書館機能を持つ憩いライブラリを整備する。	どなたでも	施設整備中であり、記載できない内容がないため、未回答	施設整備中であり、記載できない内容がないため、未回答	指定管理者	通常通り実施	施設整備中であり、記載できる内容がないため、未回答	未回答	施設整備中であり、記載できる内容がないため、未回答	施設整備中であり、記載できる内容がないため、未回答	B	施設整備中であり、記載できる内容がないため、未回答	取組の継続	施設整備中であり、記載できる内容がないため、未回答	—	—	—	集いの拠点整備課

【基本施策3 番号108~129、22事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和2年度 実績				令和2年度の目標および評価				令和3年度 目標設定			令和2年度 予算 (千円)	令和2年度 決算 (千円)	令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	のコロナ影響	令和2年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和2年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和3年度目標値					方向性	令和3年度の 課題と方向 (120字程度)
125	◎	その他	社会問題・市民生活に関するもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	若者の活動拠点づくり	既存施設にあり方の見直しにより高校生や大学生などをはじめとする若者の活動の場としての機能を持たせるなど、生き生きと活躍できる若者の拠点づくりを進める。	15歳~39歳の若者	99日	のべ336	市単独	通常通り実施	若者総合相談センターを設置し、悩みや課題を抱えながらも次の一歩を踏み出す準備段階としてのフリースペースを提供した。	その他	コースセンター機能の構想化に向けた検討	若者総合相談センターにサードプレイスを設置することができた。	C	既存施設のあり方の見直しを図り、若者の活動の場の提供を検討する。	取組の継続	既存施設のこれまでの経緯を踏まえたあるべき姿の検討を行っていく。	0	0	0	青少年若者課
126		その他	社会問題に関するもの	027	誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	施設内のサイン計画改善	言語や障害に左右されず、施設内を不自由なく使用できるように表示を改善する。	障害者	-	-	共催	変更して実施	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発をチラシ等で続けていく。	-	-	-	B	-	取組の継続	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発をチラシ等で続けていく。	-	-	-	障害者福祉課
127		情報提供・環境整備	育児・教育	027	誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	学習支援のための託児	子育て中の市民等の学習支援として、満1歳~未就学児の託児サービスを提供し、特に女性の社会参画の促進を図る。	親子・保護者	101	利用保護者136	市単独	変更して実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、託児時間等の利用条件を変更して実施した。	の応募者数・参加者	利用保護者325人	利用保護者136人	C	利用保護者136人	取組の継続	子育て中の市民等の学習機会を拡充する。	7,429	7,138	7,731	男女共同参画課
128		その他	社会問題・市民生活に関するもの	027	誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	障害者の参加を促す環境整備	障害者が講座等への参加に必要な介助者や手話通訳者の受講料を無料とするほか、車いす使用者用の机や拡大資料を提供し、障害者が参加しやすい環境を整備する。	障害者	-	-	共催	変更して実施	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発をチラシ等で続けていく。	-	-	-	B	-	取組の継続	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発をチラシ等で続けていく。	-	-	-	障害者福祉課
129		その他	情報端末に関するもの	028	ICTを活用した生涯学習機会の充実	ICTの活用	図書館における、電子書籍の拡充、ホームページ等による情報発信の充実を図る。	どなたでも	-	【電子書籍の貸出数】54,857回 【電子書籍のタイトル数】12,195点	市単独	通常通り実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、タイトル数を増やすとともに、広報・ホームページ・ブックスタートの会場・地域イベントにおいて積極的な周知を行った。	貸出数	50,000回	54,857回	A	検討中	取組の継続	「新しい生活様式」に沿った身近な読書環境の整備として、電子書籍やオーディオブックの充実、ナクソス・ミュージック・ライブラリーの導入などインターネットを活用したサービスの充実を図る。また、広報、ホームページ、イベント等において積極的な周知を行う。	11,125	11,142	5,000	生涯学習センター図書館